

いこま空き家流通促進プラットフォーム

生駒市では、平成29年6月から空家等対策計画の策定及び、空き家の流通促進に関することの有識者懇話会を開催してきました。そして、平成30年5月28日に、不動産流通関連の8団体と連携協定を締結し、「いこま空き家流通促進プラットフォーム」を設立しました。これは、人口減少と急激な高齢化に伴い、現在2、8%の生駒市の空き家率は今後急速に増加することが予測されます。平成28年度に実施した空き家等実態調査の結果によると、生駒市には活用可能と思われる空き家や活用意向を示す所有者が少なくないことから、各分野の専門家が集まって空き家の流通を促進するためのプラットフォームを構築し、個別の物件に応じた支援策を検討、実施する取り組みです。市は、選定された業種の事業者に対し、所有者の連絡先等を含めた空き家情報を提供します。事業者は所有者と調整のうえ流通に向けた具体的な支援を行っていきます。



以上、奈良県生駒市【記者会見資料より引用】

協力する専門家団体は、特定非営利法人空き家コンシェルジュ、公益社団法人奈良県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会奈良県本部、奈良県司法書士会、株式会社南都銀行生駒支店、一般社団法人奈良県建築士会、奈良県土地家屋調査士会、奈良県建築協同組合です。



これに先立ち、生駒支部では平成30年2月17日、改修の提案や既存住宅状況調査の支援を担う役割として、「生駒市内の空き家の流通に関わる設計業務等の受注について」の説明会を行い、8事業者がこの取り組みに協力の意思表示をしていただきました。

今後は生駒市により空き家の所有者からの同意の取得を開始し、登録事業者向けの全体説明会が開催されたのち、「空き家流通促進検討会議」が隔月に1度の割合で開催されます。専門家が協力して、空き家の利活用を含め、物件の流通促進に向けた具体的な支援を所有者に対し行われる見通しです。